

つかむ

調べる

まとめる

深める

～鉄道敷設の意味について、異なる立場から考え合う活動～

1. 小单元名『新しい時代の幕あけ ―鉄道敷設から見える近代化―』

(教科書：『小学社会 6 上』 p.88～104／学習指導要領：内容（1）キ）

2. 小单元の目標

明治政府の打ち出した様々な近代化政策について調べ、近代化を強く推し進めていくことが、西
欧列強から日本の独立を維持することにつながったことや、それに伴って当時の人々の暮らしが大
きく変化したことがわかる。

3. 小单元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
明治新政府の国づくり の様子に関心をもち、意 欲的に調べようとしてい る。また、近代化してい く日本のあり方につい て、関心をもって考えよ うとしている。	鉄道の敷設によっ て、近代化がどのよう に国づくりに関係して いるかを考察してい る。	明治新政府の対応や 周辺の国々の様子につ いて資料から読み取 り、表現している。	日本の「近代化」に ついて、「産業の近代 化」と「意識の近代化」 の両面から理解してい る。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

これまで、稲作の伝来、仏教文化や政治システムの吸収など、「外国とのつながり」と、それがど
のように人々の意識に変化をもたらしてきたかを学んできている。一方、本単元で取り上げる鉄道
は、子どもにとって身近なものではない。石炭の価値についても、実感することは難しい。明治の
「人々の意識」にどのように目を向けさせるかが課題である。

(2) 教材について

本単元では、「近代化」を核に、明治政府の国づくりをとらえさせる。様々な近代化政策を調べる
ことで、子どもたちは、「新しい制度や文化は人々の暮らしを豊かにしている。」と、とらえる。し
かし、実際は改革断行による混乱、凶作、重税、物価高騰などにより、世直し一揆が全国で多発し
ている。それにもかかわらず、なぜ、伊藤博文と大隈重信は鉄道の敷設にこだわるのか。その問題
を考えることから、「産業を発達させ、経済・軍事面で西洋列強に対抗する『モノの近代化』」と、「国
民を封建的な世の中から脱皮させる『意識の近代化』」の両面が見えてくるのである。

(3) 指導上の工夫・留意点

2つの比較を設定する。一つは、本時まで、新橋・横浜間（30分の1）の距離を子どもたちは
歩く。自分が徒歩でかかる時間と、鉄道がかかる時間とを比較することで、当時の人々の驚きや意

識の変化を実感させる。次に、本時の後半では、新橋・横浜間の地図と日本地図を比較する。29 kmの鉄道敷設は、日本全体から俯瞰して見ると僅かであるが、この30数年後には全国に鉄道網は張り巡らされ、わが国の近代化の根幹を担っていく。新政府がその浮沈をかけて行ったこの事業から、近代化の意味を子どもたちは考えていくのである。

5. 小単元の指導（総時数 11 時間）

時数	ねらい	○学習活動 ☆内容
① (つかむ)	江戸の町の様子と文明開化後の2枚の錦絵を読み取り、比較しながら、単元を貫く課題「新しい国づくりは、どこで学んで、どのように進められたのだろう」を生む。多数の相違点に気付いていく過程で追究意欲を高める。	○まちの風景が変わった (p.88～89) 2つの資料、「1860年頃の江戸の町の様子 (p.88 ア)」と「明治初め頃の東京の様子 (p.98 ア)」を比較し、錦絵にある衣服、建築物、交通などに着目しながら、その変化が僅か約10年であった事実を提示する。そこから「どうして、町の様子は変わったのだろうか？」という学習問題を生む。 ☆わずかな期間で、大きく様変わりした「人々の暮らし」。
① (調べる)	西欧列強が日本を圧倒していたのは新エネルギー「石炭エネルギー」にあることがわかる。	○黒船が来た (p.90～91) 資料ア「ペリー艦隊と防備を固める人々」を読み取る。混乱している人々の様子や資料イ「日本人が描いたペリー」から「黒船の来航は、世の中にどのような影響を与えたのだろうか？」という問題を生み、資料エ「ペリー艦隊の航路や不平等条約の内容から、開国の目的や西欧列強の力を明らかにする。 ☆ペリーの来航の目的や、幕府が結んだ不平等条約の内容。
① (調べる)	「開国」が「物価高」を引き起こし、世の中が不安定になったこと、武士の時代が終わったことがわかる。	○江戸幕府が倒れる (p.92～93) 資料ア「江戸で起こった打ちこわし」を読み取る。資料イの一揆・打ちこわし件数が増加していることから「開国によって、幕府の政治はどう変わったのだろうか？」という問題を生み、追究する。 ☆開国と、幕府の衰退・終焉との関係。
① (調べる)	岩倉使節団の米欧派遣について調べ、それが西洋化を目指す第一歩であったことを明らかにする。	○新しい政府をつくる (p.94～95) 資料ア「外国を訪れた使節団」を読み取り、明治政府のリーダーたちが長期間米欧を訪れた理由を考え、「新しい政府はどのような政治を目指したのだろうか？」という問題を生み、追究する。 ☆西洋の新しい技術や仕組み（蒸気エネルギー、製鉄技術、大陸横断鉄道、軍艦、兵器工場、国会など）を採り入れようとした明治政府。

① (調べる)	明治政府のスローガン「富国強兵」や「殖産興業」の意味を富岡製糸場の建設から考えさせる。	○西洋に追いつけ① (p.97)～殖産興業～「富岡製糸場」は官営工場であったことを提示し、「政府は何のために自ら工場をつくったのか？」という学習問題を生む。富岡製糸場が世界最高品質の生糸を製造していた意味を「不平等条約の改正」と関係付けながら追究する。 ☆「富国強兵」「殖産興業」と「不平等条約改正」の関連。
① (調べる)	本単元の核となる概念「近代化」を、鉄道敷設事業を西洋列強に対抗する「モノの近代化」と、国民を封建的な世の中から脱皮させる「意識の近代化」の両面に目を向けさせながらつかませる。	○西洋に追いつけ②鉄道開通と近代化 (p.96) 鉄道敷設への反対理由を「国民」「軍」「政府」の立場からそれぞれ提示し、「なぜ、伊藤博文と大隈重信は鉄道開通を急いだのだろうか？」という学習問題を生む。また、日本地図上に表された新橋・横浜間は僅かな距離に過ぎないことを提示し、そこをスタートに、わが国の近代化の根幹を担っていったことに気付かせる。 ☆当時の日本における鉄道敷設がもたらした「近代化」。
① (調べる)	近代化のベースになるのは、「ものづくり」だけでなく、「人づくり」が重要であることを捉えさせる。	○人々の暮らしが変わった (p.98～99) 資料 ^イ 「学校に通った子どもの割合」と資料 ^ウ 「小学校の授業風景」から「明治政府は、どうして義務教育を始めたの？」という問題を生む。 ☆西洋の新しい技術や仕組み（蒸気エネルギー、製鉄技術、大陸横断鉄道、軍艦、兵器工場、国会など）を採り入れようとした明治政府。
① (調べる)	板垣退助の思いから、当時の政治と人々の思いが一致しないことに気付かせ、板垣の願いについて考える。	○自由民権運動が広まる (p.100～101) 「人々は政府にどのような政治を期待したのだろうか？」
① (調べる)	国づくりのベースは「人づくり」であることを、大日本帝国憲法と五日市憲法を比較しながら追究していく。	○国会が開かれる (p.102～103) 「憲法が制定されて政治はどのように変わったのだろうか？」
① (まとめる)	江戸幕府が倒れる前と後の世の中の動きの関わりを、キーワードとともに西郷隆盛、木戸孝允、伊藤博文、大久保利通、お雇い外国人、福沢諭吉といった人物の目を通して追究していく。人物は各児童が選択する。	○キーワードに着目して学習を振り返ろう (p.104) 開国、百姓一揆、打ちこわし、明治維新、富国強兵、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法

① (深める)	<p>お雇い外国人は、日本の近代化にどのように貢献したのかを追究する。</p> <p>日本国内に残る、数多くの「国宝」を紹介する。</p>	<p>○日本の社会や文化を見直す</p> <p>「なぜ、フェノロサは、大切に思った日本の美術品(『平治物語絵巻』など)を海外に送ったの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽視され、壊されることが多かった日本の伝統的な美術品を守るため。 ・日本の伝統的な美術品の良さや文化を、海外の人にも知ってもらい、広めていくため。 <p>「国宝」という概念をつくったのはフェノロサ。</p> <p>お雇い外国人たちは、日本の近代化に貢献しただけでなく、伝統的な日本のよさを守ることに貢献。</p>
------------	---	--

6. 本時の指導 (第6/11時)

(1) 本時のねらい

明治初期の鉄道敷設について調べ、明治政府が産業の発展だけでなく、国民の意識も新しいものに変えることで、近代化をより進めようとしていたことがわかる。

(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

子どもは、鉄道の利便性については理解している。本時では、国家予算の1.5倍という鉄道の購入費に着目させる。閣僚の反対、軍備を優先したい軍部の思惑、一揆の多発という当時の状況について、説明を聞いたり資料から読み取ったりすることを通して「伊藤と大隈が鉄道を開通させようとしたのはなぜか」という問いをもつことができるようにする。そして、「産業の発展」と「国民の生活」の両面から話し合うことを通して、近代化の意味について考えを深めていく。

さらに、新橋・横浜間の開通の30数年後、全国に張り巡らされた鉄道の地図と比較することで、「なぜ、こんなに広がったのか」という問いをもち、その追究を通して、産業の発展と国民生活の関係をとらえ直す。その中で、国民に受け入れられること、国民の意識を新しいものにしていくことが国の近代化において重要であるということに気付かせていく。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
15	<p>○計測した「新橋・横浜間ウォーク」の結果を発表し、子どもたちがかかった時間と鉄道の時間を比較する。</p> <p>T:みなさんが歩くと半日以上かかるところを、鉄道が僅かな時間で到着したのですね。</p> <p>C:鉄道ってすごい!輸送力だけでなくスピードもアップ。</p> <p>T:でも、この鉄道敷設は大きな反対があったのです。</p> <p>C:良いことづくめなのに、どうして。</p>	<p>◎「新橋・横浜ウォーク」の写真を提示する。</p>

	<p>○資料をもとに、各方面からの反対についてとらえる。</p> <p>T：西郷隆盛や大久保利通ら新政府のリーダーからは、国家予算の1.5倍という費用を反対され、軍部からは軍艦を造るべきだと言われたのです。国民からは…</p> <p>C：国民は賛成だったと思います。</p> <p>T：世直し一揆が多発し、「税金を下げてください。」という声が全国各地で上がりました。鉄道は海の上も通りません。反対にあつて土地を取得できなかったからです。</p>	<p>◎西郷隆盛、大久保利通、軍艦の写真を提示する。</p> <p>◎各地で世直し一揆がおきている様子を、件数の棒グラフと発生地の地図で提示する。</p>
5	<p>C：なぜ、それでも鉄道を造ったのかな。</p> <p>T：それを今日の学習問題にしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、伊藤博文と大隈重信は鉄道を開通させたの？</p> </div> <p>T：自分の考えをノートに3分間で書きましょう。</p>	<p>◎伊藤博文と大久保利通の写真、当時の鉄道の絵を提示する。</p>
15	<p>T：全体で考えを話し合ひましょう。</p> <p>C：それまで日本を「遅れている国」と思っていた欧米列強から、一目置かれるようになるからだと思う。</p> <p>T：欧米という言葉が出ました。近い考えの人はいますか。</p> <p>C：欧米を驚かせて、すごいところを見せつけたい。</p> <p>C：そうすれば、植民地にもならずすむ。</p> <p>C：工業がさらに発展することも考えているのでは。</p> <p>T：なぜ、鉄道と工業が関係するのですか。</p> <p>C：人間が運ぶよりもたくさん、早く運べるから。</p> <p>T：それらをまとめると…</p> <p>C：産業の近代化。</p> <p>C：国民を驚かせたかったということもあると思います。</p> <p>T：驚かせて、どんなメリットがあるのですか。</p> <p>C：世直し一揆や打ちこわしは、明治政府を見くびっているから。こんなすごいものが造れるんだぞ、と思わせることで、国民は新政府を信頼すると思います。</p> <p>C：でも、税金がさらに高くなると困る。</p> <p>C：このままでは、いつまでたっても欧米に追いつけない。そのためには、お金をかけてでも、鉄道を造った方が国民のためにもなる。</p> <p>C：暮らしが便利になると、西洋化をもっと受け入れるはず。</p> <p>C：伊藤博文たちは、新しい世の中になったことを実感してほしかったんだと思う。</p> <p>T：実感するとどうなるのでしょうか。</p>	<p>◇机間指導を行い、「産業の発展」と「国民の意識」のどちらをとらえているかを把握しておく。</p> <p>◇できるだけたくさん書かせる。</p> <p>◇テンポよく簡潔に発表させる。</p> <p>◇似た考えを集約しながら、「産業」「意識」の近代化にアプローチする。</p> <p>◇抽象的な意見は、その根拠を明らかにしたり、具体的に述べさせたりしながら、概念化を図る。</p>

	<p>C：世直し一揆をしなくなるし、税金も払う。</p> <p>C：富国強兵には、国民の協力が必要だ。</p> <p>T：では、国民から見た方をまとめると…</p> <p>C：考え方や意識の近代化。</p> <p>○子どもたちの考えを整理する。</p> <p>T：みんなの2つの考えを整理しよう。産業が発達すると、国民の意識も変わる。国民の意識が変わると…</p> <p>C：協力的になり、産業がますます発達する。</p> <p>T：これらが繰り返される先にあるものは何だろう。</p> <p>C：西洋に追いつけるし、不平等条約がなくなる。</p>	<p>◇2つの意見を、時間軸を通して考えさせる。</p>
10	<p>T：なるほど。この鉄道は大きな意味があるんだね。でも、この新橋・横浜間は日本全体で見ると、ほんの僅かだよ。これで、本当に近代化につながるのだろうか。</p> <p>C：今は一つでも、この先どんどん増えていくはず。</p> <p>C：日本を体で例えると、血管みたいに、体中に張り巡らされると思う。</p> <p>○鉄道の営業距離伸張の地図を提示する。</p> <p>T：なぜ、こんなに鉄道が広まったのでしょうか。</p> <p>C：産業の発展が全国に広まっていった。</p> <p>C：特に石炭。たくさん運びたいはず。</p> <p>C：造っていた官営工場を結ぶこともできると思う。</p> <p>C：日本中の国民の意識も変わっていった。</p> <p>○各児童にキーワードでまとめさせる。</p> <p>T：今日のキーワードは「近代化」「産業」「意識」です。</p> <p>C：「伊藤博文と大隈重信は、鉄道の開通によって、産業の発展だけでなく、人々の意識を近代化させていった。」</p> <p>C：「鉄道による産業の近代化と意識の近代化は、国全体の近代化につながっていった。」</p> <p>T：振り返り（新たな疑問）を書き、交流しましょう。</p> <p>C：鉄道以外に、どのような近代化をしていったのだろうか。</p> <p>C：日本は、この後、不平等条約を改正できたのかな。</p> <p>C：近代化に成功したら、その先に日本はどんなことをしていったのだろうか。</p>	<p>◎新橋・横浜間の鉄道が記された日本の白地図を提示する。</p> <p>◇「石炭」「官営工場」などの既習事項もできるだけ拾っていききたい。</p> <p>◇キーワードは何にするかを考えさせる。</p> <p>◇必ず主述の通った一文になるように指導する。</p> <p>◇書けた児童同士、自由に交流させる。</p> <p>◆調べてきたことを根拠に、「近代化」の意味を具体的に捉えることができている。 (思・判・表／ノート)</p>